

平成24年7月 九州北部豪雨災害

大分県日田市吹上地区

日田市では、これまでに経験したことのない雨がふって、人が死んだり、1000戸をこえる家が水につかったり、こわれたりする大きな被害が発生しました。



水につかった家や道路

そのとき、 地元の人たちがとった行動は！

① 川があふれ出した



近くの避難所に避難

近くの川があふれて
自宅が水びたしになったので、
自治会の人々が中心になって
近くの避難場所に移動させました。



② 避難所も危なくなってきた



さらに安全な避難所に移動

まちに流れ込む水の量が
どんどん増えて、
さらに危険になったため、
自治会の人たちが、安全なルートを通り、
より高い所にある避難場所に
住民を移動させました。



● 身の安全を守ることができたポイント

・ 地元の人々が、いまいる場所が危ないと気づいて、自分たちで考え、より安全な避難場所に移動したこと。

平成24年7月 九州北部豪雨災害

熊本県阿蘇市坂梨地区

阿蘇市では、大量の雨がふったため、あちらこちらで山の斜面がくずれる「土砂災害」が発生。多くの人が死んだり、たくさんの家がこわれたりしました。

そのとき、 地元の人たちがとった行動は！

Aさんの例

(市役所からの情報を聞いて避難)

市役所からくりかえし出される防災情報を聞いて、裏山がくずれるかとも思い、家族を自宅から安全な場所へ避難させた。その結果、その後に発生した土砂災害から家族を守ることができた。



山がくずれて流れおちてきた大量の土砂

Bさんの例

(自分の判断で避難)

防災情報をまったく入手できていなかったが、近くで水が流れる音が気になって眠れなかった。朝6時前、家の上の方のガケがくずれるようすが見えたため、すぐとなりの方に避難。その直後に土石流で家が全部こわされたが、前もって避難したので助かった。



大量の土砂でこわされた家

●身の安全を守ることができたポイント

- ・ 防災情報などを参考に、山の斜面がくずれるかもしれないと考えたこと。
- ・ 雨や水の音を聞いて、災害が起こるかもしれないと思ったこと。



いのちが助かった人に共通していることは、まわりのようすを見ながら早め早めに避難をしていることだね。避難することの大切さがわかったかな。

